



お客様各位

SMA ジャパン株式会社
〒105-0014
東京都港区芝 3-23-1
セレスティン芝三井ビル 8 階
日付 2017 年 6 月 6 日

弊社パワーコンディショナ出荷時の試験周波数について

拝啓、貴社ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。早速ですが、お問合せいただきました掲題の件につきまして、以下にてご回答申し上げます。

敬具

記

【趣旨】

パワコン工場出荷時の試験周波数が 50Hz のみでの実施ですが、60Hz でも技術的に問題はないことの見解をご案内します。

【対象製品】

STP60-JP-10

【見解詳細】

弊社のパワコンは、電圧型電流制御方式を採用した逆変換装置です。これは、系統電圧（周波数）に対しては単に追従するだけの機能を持ち、逆潮流制御はその電流値の制御で行うものです。系統への追従範囲は、周波数の場合 44Hz～65Hz までシームレス（連続動作）です。これは、50Hz 系と 60Hz 系で運転制御用ソフトウェアが異なるものではないことを意味します。その代わり、50Hz および 60Hz 系において変更しているものは、周波数の“検出レベル”だけです。具体的には、50Hz 下で利用する場合は、周波数上昇/低下(OFR/UFR)を 51.0Hz/48.5Hz(例)、60Hz 下で利用する場合は 61.2Hz/58.2Hz(例)と設定しているだけであり、基準系統周波数の違いによって本機に備わる動作および性能が変わることはありません。

工場出荷検査は、上記のとおり弊社の製品が備えるべき機能が正しく動作するかどうかを検証することが目的であり、試験周波数 50Hz のみでその目的を達成しております。そして、この結果をまとめた検査成績書によって、50Hz でも 60Hz でも正しく動作することを保証しております。

ご参考までに 50Hz および 60Hz 下で、共に機能が同等に動作することは、別紙「型式試験レポート」にてご提示しております。こちらを合わせてご確認くださいませようお願い申し上げます。

以上